



# 平成 18年 3月期 第 3四半期業績の概況 (連結)

平成 18年 1月 23日

上場会社名 株式会社 図 研

(コード番号 : 6947 東証第 1部)

(URL <http://www.zuken.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 金子 真人

問合せ先責任者 役職名 財務部長 氏名 西 伸孝

TEL (045) 942 - 1511

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

## 2. 平成18年 3月期第 3四半期 (9ヶ月累計)業績の概況 (平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 12月 31日)

(1)連結売上高 (又はこれに相当する事項) (単位 百万円未満切捨)

期	売上高	
	百万円	%
18年 3月期第 3四半期	11,203	9.1
17年 3月期第 3四半期	10,270	7.1
(参考) 17年 3月期 (通期)	15,769	2.6

(注)売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(参考)販売及び受注の状況

売上高

(単位 百万円未満切捨)

期 別	平成18年3月期第3四半期		平成17年3月期第3四半期	
	〔自 平成17年 4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕		〔自 平成16年 4月 1日〕 〔至 平成16年12月31日〕	
品 目 別	金 額	構成比率	金 額	構成比率
基板設計ソリューション	3,878	34.6	3,648	35.5
回路設計・ICソリューション	1,986	17.7	1,767	17.2
ITソリューション	1,362	12.2	1,035	10.1
クライアントサービス	3,943	35.2	3,770	36.7
そ の 他	31	0.3	49	0.5
合 計	11,203	100.0	10,270	100.0

受注高及び受注残高

(単位 百万円未満切捨)

期 別	平成18年3月期第3四半期		平成17年3月期第3四半期	
	〔自 平成17年 4月 1日〕 〔至 平成17年12月31日〕		〔自 平成16年 4月 1日〕 〔至 平成16年12月31日〕	
品 目 別	受注高	受注残高	受注高	受注残高
基板設計ソリューション	3,958	574	3,865	709
回路設計・ICソリューション	2,438	637	2,139	568
ITソリューション	1,823	655	1,528	633
クライアントサービス	4,050	2,074	3,711	1,823
そ の 他	75	44	51	2
合 計	12,346	3,984	11,297	3,737

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期(平成17年4月1日～平成17年12月31日)の経済環境は、企業収益の改善を背景に好調な自動車業界やデジタル家電業界を中心に設備投資が増加し堅調な動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような中で当社グループは、引き続き、お客様の設計・製造プロセス全体の効率化をすすめ、より高度なソリューションの提供や、エレクトロニクス化が進む新たな市場へのビジネスに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、売上高、受注高とも順調に推移し、当第3四半期の連結売上高は、112億3百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

(2)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当第3四半期において投資有価証券の一部を売却し、この結果、5億4千3百万円の特別利益が発生いたしました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	17,200	2,360	1,850	69 09

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年3月期の業績予想につきましては、上記の投資有価証券売却益が発生したことにより、平成17年11月14日公表の業績予想と比較して、当期純利益が3億2千万円増加することを予想しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上